

ブルーカーボンデータ計測マニュアル研究会について

令和7年度 第2回地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会

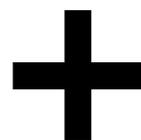
2月9日(月)

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室

- 国土交通省では、ブルーインフラの整備効果確認等を目的に、海草藻場・海藻藻場(以下、藻場)によるCO₂吸収量を把握するため、グリーンレーザー搭載ドローン及び藻場の繁茂面積を高精度かつ効率的に把握・管理するシステム(通称BDAS(Blue carbon Data Archive System)(仮称))を開発。
- 本システムは、グリーンレーザー搭載ドローン(GLドローン)により藻場を計測し、その計測データをシステムに取り込み解析することで藻場面積をwebGIS上に表示できるシステムである。
- 令和8年4月から稼働する予定であり、同時にグリーンレーザー搭載ドローンによる藻場計測マニュアルも公表する。
- 今後は、広域的かつ継続的なデータ取得による環境変化の把握といった課題を解決するため、人工衛星及び音響計測手法を活用したブルーカーボンの高精度データの把握・管理システムの開発・改良を実施する。

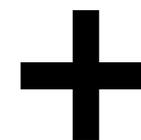
●グリーンレーザー搭載ドローン (GLドローン)

- ・精度: 比較的高い
- ・計測範囲: 局所的
- ・継続的なデータ取得: 都度調査が必要



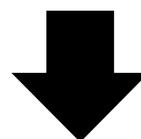
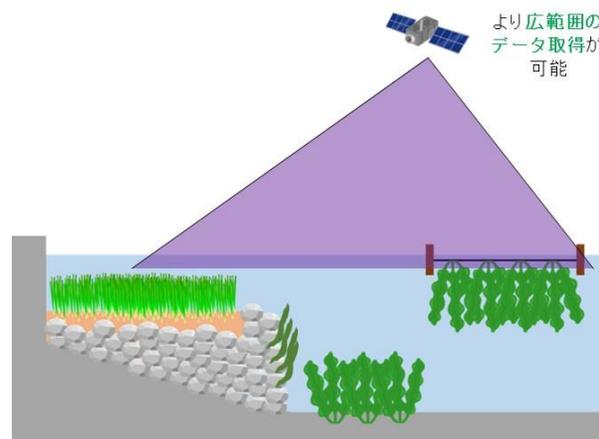
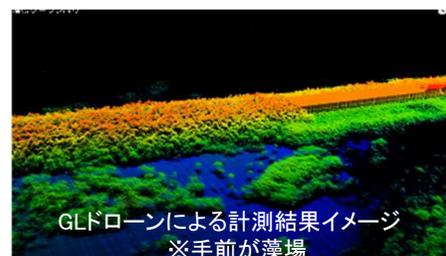
●人工衛星

- ・精度: GLドローンと比較すると低い
- ・計測範囲: 数十万～数百万km²
- ・継続的なデータ取得: 1日～数日間隔で同じ箇所を撮影



●音響計測手法(魚探など)

- ・人工衛星では計測できない深い水深のデータ取得
- ・漁船等を活用したデータ収集



各種のリモートセンシングデータを組み合わせることにより、
精度高く、広範囲かつ3次元に藻場の時系列的变化を捉えることが可能となる。

○令和8年4月から稼働するBDASのお披露目会を開催いたします。お披露目会では、港湾空港技術研究所の前面に繁茂する海藻を対象にグリーンレーザー搭載ドローンによる計測デモンストレーションを実施します。その他、BDASの操作説明、ブルーカーボンデータ計測マニュアルの説明を実施します。

日時：令和8年3月6日（金） 13:30～16:30（予備日3月10日（火） 13:30～16:30）

場所：港湾空港技術研究所会議室（神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号）

対象者：国土交通本省港湾局、各地方整備局、国土技術政策研究所（横須賀）、
港湾空港技術研究所、マニュアル研究会参加企業

議事内容：
・グリーンレーザードローンによる藻場の計測デモンストレーション
・ブルーカーボンデータアーカイブシステム（BDAS）の操作チュートリアル
・ブルーカーボンデータ計測マニュアル説明会